

医療タイムス

週刊医療界レポート

2018.4/9 No.2346

Topics 新たに818人が入職 戸田中央医科グループ

戸田中央医科グループ(TMG、中村隆俊会長)は2日、埼玉県戸田市文化会館で2018年度TMG入職式を挙行了。本年度の同グループ新入職員数は、臨床研修医15人をはじめ、看護師・助産師・歯科衛生士・准看護師・看護補助者358人、介護福祉士・介護補助者11人、薬剤師33人、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士150人、臨床検査技師41人、臨床工学技士18人、管理栄養士・調理師17人、診療放射線技師23人、社会福祉士24人、事務・クラーク・視能訓練士・保育士128人の計818人。

あいさつに立った中村毅TMG副会長は、「医療・介護は安全が基本となる」と指摘。その上で、「現在の医療はチームで行っている。患者により安全な医療・介護を提供するためには日ごろから職員同士のコミュニケーションを取ることが大事だ」と訴えた。また、「今日からプロの医療人として、経験を積んでいくこととなる。医療・介護・福祉・保健を担うトータルヘルスケアを目指すTMGの新たな歴史をともに歩み、作っていききたい」と新入職員の活躍に期待を寄せた。

横川秀男TMG副会長は、「日本は今、少子高齢社会となり、人口構成や経済成長率などが大きく変わりつつある。その中において私たちTMGは、医療・介護を提供する新しいモデルを確立していかなければならない」と強調。さらに「1人ひとりが技術を高め、心をあわせ、ベクトルを同じにして最高の医療・福祉を提供していきたい」と述べた。続いて、各職種を代表して11人の新入職員に、中村副会長、横川副会長が辞令を交付。看護師の松井沙樹さんが、新入職員誓いの辞を述べた。



818人の新入職員が参加した入職式